

安曇野市公民館報

安曇野市
中央公民館
No.47 2019.3.6
TEL71-2466

三郷公民館

元日ウオーキング



三郷公民館は、1月1日午後1時から元日ウオーキングを開催し、48人が参加した。

元日ウオーキングは、健康づくりと初詣を兼ねており、三郷公民館から楡地区の住吉神社までの往復約4キロのコースを歩いた。

当日は、肌寒さを感じさせる程度の穏やかな天候に恵まれた。公民館に集まった参加者は、親子連れの若い夫婦から80代まで幅広く、初めに新年のあいさつを交わし、そろって準備体操をした後、それぞれのペースでウオーキングを開始した。

参加者は、美ヶ原などの東山や、北アルプスの山々などの景色を眺めながら、他の参加者と談笑して和やかにウオーキングを楽しんだ。



住吉神社に到着した参加者は、入り口の手水舎で清めた後、大鳥居をくぐって初詣でにぎわう境内をめぐり、拝殿前で茅の輪くぐりを体験した。拝殿へ進むと、それぞれの願いを込めて参拝した。



その後、公民館に戻ってから福引き抽選会で盛り上がった。参加者からは「おかげで幸先のよい一年のスタートをきることができた」といった声がかれた。(東山路)

豊科公民館

楽しい菊作り講座

豊科公民館では、4月26日から10月10日まで全6回にわたり「楽しい菊作り講座」を開催した。22人の受講生のうち10人は菊作り初心者で、講師は昨年度に引き続き鈴木輝彦さんが務めた。

第1回は、菊作りの基本的なことについての講義を受けた。

第2回は、挿し芽の作業で初心者には難しく、この作業の良しあしで花の出来栄に大きな影響が出る。挿し芽にはコツがあり、経験を積まないと習得できないため、この講座ではベテランの受講生が初心者に教えるという伝統が引き継がれている。挿し芽をしてから1週間直射日光に当てず、水もやらない。普通に考えれば枯れてしまうと思われるが、根を張らせるためには大事なことである。



挿し芽作業の良しあしが花の出来栄に影響する



細心の注意を払って鉢上げをする

第3回は、鉢上げと摘芯の実習を行った。鉢上げは植えこむ作業で、土の量や根に直接肥料を接触させないようにするなど、細心の注意が必要だ。摘芯は苗の最先端の芽を摘み取ることで、三本仕立てにするために欠かせない作業である。

第4回は、誘引と定植を行った。誘引は茎を三方向に導く作業だが、意外に難しく茎を折ってしまうやすい。

第5回は、豊科地域光地区の光菊花クラブの栽培状況を見学した。

第6回は、輪台を取付け、いよいよ開花を待つばかりとなった。

また、11月6日には希望者と菊花展実行委員が菊作り先進地の須坂市臥竜公園で行われた第31回信州須坂大菊花展を見学した。

受講生からは、「菊作りは天候に左右されて苦労も多いが、先生の丁寧な指導や、講座の仲間のアドバイスで、きれいな花を咲かせることができ楽しかった。来年もぜひ受講したい」といった感想が寄せられた。(宏雲)